

区自治協議会提案事業 事業評価書(中間評価用)【案】

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくりプロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち (1)発災時の地域防災体制支援事業【事業費予算 920千円】
事業目的・概要	平成28年度実施の地域防災推進事業を踏まえ、地震などの災害時において、地域内の連絡体制や地域から区災害対策本部へ被災情報を伝達する体制を構築するため、地域コミュニティ協議会でワークショップを開催する。 構築した体制に基づいて、地域と区災害対策本部で情報の伝達訓練を実施する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	○ワークショップ 日 時:平成29年7月28日(金) 午前10時～正午、午後2時～4時 会 場:東区プラザ 多目的ルーム2 内 容:発災時の情報収集方法などについて、グループワーク形式で検討 参加者:87名(山の下コミ協、下山コミ協、桃山コミ協、木戸コミ協、防災士) ○事前説明会 日 時:平成29年11月1日(水) 午前9時30分～11時30分 会 場:東区プラザ ホール 内 容:訓練当日の流れや無線機の使用方法的説明、連絡網の共有 参加者:46名(山の下コミ協、下山コミ協、桃山コミ協、木戸コミ協) ○情報伝達訓練 日 時:平成29年11月13日(月)、15日(水) 場 所:山の下コミ協、下山コミ協、桃山コミ協、木戸コミ協の 指定避難所・一時避難場所・その他 内 容:発災時を想定した情報伝達訓練とその振り返り 参加者:59名(山の下コミ協、下山コミ協、桃山コミ協、木戸コミ協)
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など (期間延長を行う理由も記載))	・情報伝達訓練を全12コミ協で実施することを考えると、複数年での実施が必要である。また、来年度に情報伝達訓練の実施を検討しているコミ協もあるため、継続していきたい。 ・同一の内容だけではなく、防災士を交えた事業や防災教室などの子ども向け事業など、これまでと違う方向性も検討していきたい。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(中間評価用)【案】

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくりプロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち (2)東区めぐり子どもバスツアー【事業費予算 210千円】
事業目的・概要	東区内の特色ある施設を実際に訪れ、見て学び体験することにより、東区の魅力の再発見と東区に対する愛着を深めることに繋げる。 また、他校の児童との交流により、子どもたちが社会性を育む機会を提供する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	日 時:平成29年8月21日(月) 午前9時～午後4時20分 参加者:小学4～6年生 39名(男子 20名、女子19名) 見学先:山の下閘門排水機場、新潟空港、航空自衛隊新潟分屯基地、 北越紀州製紙株式会社新潟工場
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など (期間延長を行う理由も記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を上回る多くの申込みがあり、参加した小学生へのアンケートでも満足度は95%であり、大変好評であったと考える。 ・小学生に東区の魅力を発信する良い機会であり、教育において「体験」が重視されているなかで、実際に施設を訪れ、見て学び体験できる機会であることから、事業を継続して行う。 ・想定以上のニーズを確認できることから、不公平感が生じないよう周知方法や申込方法を検討する必要がある。 ・小学生が目的意識を持って参加できるよう、テーマや目的をより明確にして実施できるとよい。
備考	